

部活動加入状況

令和7年5月1日
現在

	部活名	中学			高校		
		男	女	計	男	女	計
体育系	バレーボール	0	6	6	0	13	13
	テニス	4	5	9	17	6	23
	硬式野球	21	0	21	56	0	56
	陸上競技	1	2	3	25	16	41
	新体操	0	6	6	0	10	10
	サッカー	0	0	0	68	0	68
	柔道	9	3	12	19	0	19
	バスケットボール	4	0	4	30	4	34
	チアリーディング	0	9	9	0	10	10
	弓道	3	5	8	18	9	27
文化系	アカペラ	0	2	2	7	8	15
	吹奏楽	1	1	2	0	7	7
	写真	0	0	0	3	14	17
	美術	3	9	12	11	8	19
	パソコン	1	0	1	3	0	3
	書道	0	2	2	0	4	4
	箏曲	0	0	0	0	2	2
	服飾手芸	0	2	2	0	3	3
	調理	0	0	0	4	6	10
	茶道	2	0	2	0	8	8
	華道	0	0	0	0	4	4
	国際クラブ	0	0	0	0	0	0
	自然科学	1	2	3	1	1	2
	軽音楽(同)	0	1	1	16	37	53
	ボードゲーム(同)	0	0	0	2	0	2
計		50	55	105	280	170	450



「Next200」とは、次の100年を生徒と共に創造しようという私たちの挑戦の証。これまで築き上げてきた伝統を礎に、時代の変化を恐れず、むしろそれを楽しみながら、自ら考え、動き、つながり、世界へ羽ばたく力を育みます。さあ、一緒に希望の光となり、未来を開く星になろう。

学校沿革

- 1924年4月 大多和音吉・タカ夫妻により「松江ミシン裁縫女学院」創立。
- 1938年2月 「松江洋裁女学校」と改称し、県知事認可。
- 1945年2月 財団法人「松江被服専修女学校」となる。
- 1946年3月 財団法人「松江高等実践女学校」と改称。文部大臣認可。
- 1948年4月 財団法人「松江家政高等学校」と改称し、認可。
- 1951年2月 学校法人「松江家政学園」認可。
- 1977年8月 学校法人「大多和学園」と改称。
- 同年9月 「松江第一高等学校」と改称。
- 1978年4月 普通科進学コースに男子入学。
- 1993年7月 硬式野球部、夏の甲子園初出場。
- 1994年3月 「開星高等学校」と改称。
- 同年4月 「開星中学校」を開設。(中高一貫教育スタート)
- 2009年3月 硬式野球部、春の選抜甲子園初出場。
- 2021年4月 大多和聡宏、理事長に専任。水野次郎、校長に就任。
- 2023年4月 小山内仁、校長に就任。
- 2024年4月 創立100周年を迎えました。
- 2025年4月 Next200に向けて新たなスタート!!



学校法人 大多和学園
開星中学校・高等学校

〒690-0017 島根県松江市西津田9-11-1
TEL 0852-21-4915 FAX 0852-21-9118
<https://shimane-kaisei.ed.jp/>
✉ kaisei@kaisei.matsue.shimane.jp



開星 検索

2025年度 学校要覧

SCHOOL DIRECTORY



学校法人 大多和学園
開星中学校・高等学校

教育方針

【建学の精神】

品性の向上をはかり、社会の発展に役立つ 有望な人材を育成する。

① 品性の向上…道徳教育(モラロジー教育)～Warm Heart(思いやりの心)の育成

めざすべき人間像

万物に感謝し、周囲の幸せを祈ることができる。自分に厳しく、相手にはやさしくすることができる。

② 未来への貢献…先見教育・先行教育～Cool Head(冷静な判断力)の育成

めざすべき人間像

物事の本質、時代の流れを読むことができる。不易(不変)と流行(可変)を区別することができる。

「建学の精神」は、その学校(特に私学)の教育方針であり、その学校の職員・生徒がめざすべき人間像です。「建学の精神」の共有化、そして具現化がなければ、すばらしい学校教育はできません。「建学の精神」の具現化、これが本校の目標です。

【校訓】

立志

明朗

創造

- ① 立志 (Ambition) … 夢や目標を持ち、その実現に向けて努力しよう。
 - ▶ 柱1：礼を正す
- ② 明朗 (Brightness) … プラス思考で、前向きに行動しよう。
 - ▶ 柱2：文武合体
- ③ 創造 (Creation) … 新しい価値を作り出そう。
 - ▶ 柱3：探究活動

- 一、礼儀を正し、他者を慈しみ、品性の向上に努めます。
- 一、心を磨き、身体を鍛え、強い意志の人となります。
- 一、よりよい判断を求め、真理を常に探究します。
- 一、先人の知恵と伝統を敬い、社会への貢献に努めます。
- 一、国際人として、平和で民主的な社会を目指します。

朝のSHRの時、生活信条を唱え、「天籟^{てんらい}*の鐘」の音と共に黙想し、一日の学校生活をスタートする。

※「天籟」とは、「天地自然の響き」あるいは「自然の風の音」という意味である。
(出典: 庄子「斉物論」)

スクールポリシー

1. グラデュエーション・ポリシー(GP) 「育てたい生徒像」

卒業の認定に関する方針

建学の精神「品性の向上をはかり、社会の発展に役立つ有望な人材を育成する」として、卒業までに生徒が以下の資質・能力を身に付けることを期待します。

- 自ら夢や目標を設計し、学び続ける生徒
- 自己と他者の個性を活かし、プラス思考で行動できる生徒
- 新しい価値を創造し、建学の精神を実現する生徒

2. カリキュラム・ポリシー(CP) 「生徒をどのように育てるか」

教育課程の編成及び、実施に関する方針

生徒一人ひとりの個性を理解し、生徒の数だけ学びがある(個別最適な学び)を基本理念とし、グラデュエーション・ポリシーに掲げた資質・能力を育む教育課程を編成し、実現します。

- 個々の長所を伸ばすために細やかな指導ができる、創造に満ちたカリキュラムを編成する。
- 様々な学習の機会と環境を最大限活用した教育活動を展開する。
- 学習集団における対話とリフレクションが繰り返される授業を実現する。

3. アドミッション・ポリシー(AP) 「どのような生徒を待っているか」

入学者の受け入れに関する方針

本校を志望する生徒は、校訓に沿った意欲を求めます。

- 夢や目標を持ち、その実現に向けて失敗を恐れず挑戦し続ける生徒
- 日々を大切にし、プラス思考で、前向きに行動する生徒
- 多様性を尊重し、主体的に学び続ける生徒

4. 組織・人財ポリシー

- 変化に適切に対応し、常に最善の方策を創造できる自律型組織を目指す。
- 教職員の多様性と専門性を重視し、能力の更なる向上を目指す。
- 校務分掌とサービスセンターが密接に連携し協働する。
- 学園本部は多角的な専門性を持ち、現場を適切にサポートできる機能を維持する。

5. 事業経営ポリシー

- 学校事業の持続可能のため、健全な財政収支バランスを継続的に保つ。
- 授業料だけに頼らず、多角的な収入源を求めて新しい学校経営モデルを模索する。
- 地域に開かれ、地域と共存し、共に発展する学校キャンパスを創る。

6. 協働連携ポリシー

- 「多様な出会いと体験」を実現するため、地域や社会、企業との横断的な連携を図る。
- 学園の特色を活かした幼保との連携や小中高、高大接続など垂直的な連携を図る。
- 地域社会に根ざした高校の学校間連携・協働を図る。
- リカレント教育やリスキリングに積極的に取り組む(卒業生も含む)。

【目指す教師像】

ともに学び、ともに成長する教師

職員構成

令和7年5月1日
現在

	校長	副校長	教頭	校長室付広報官	主幹教諭	教諭	養護教諭	司書	看護師	実習助手	サービスセンター長	非常勤職員	非常勤講師	校務技師	薬剤師	校医	計
男	1	1	5	1	3	24					2		13	1	1	4	56
女			1		1	16	2	1	1	1	4	1	4				32
計	1	1	6	1	4	40	2	1	1	1	6	1	17	1	1	4	88

在席生徒数

令和7年5月1日
現在

	中 学			高 校			
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
男	12	17	26	160	125	158	437
女	16	18	20	89	75	97	279
計	28	35	46	249	200	158	716
	109			607			

卒業生数

令和7年5月1日
現在

総 数	高等学校	17,877名	中 学 校	920名
(前身の松江第一高等学校以前の卒業生も含む)				

学校運営組織図

